



パッドレスチェアモニター

取扱説明書

目次

本製品の主な機能	2
安全上のご注意	2
各部の名称とはたらき	4
電池の入れ方	4
メッセージの録音	5
モードスイッチの設定	5
車椅子への取り付け	5
ご使用方法	6
システムのテスト作動	7
こんな時には・・・(故障とお考えになる前に)	7
保証規定	8

ご使用いただく前に

この度は、パッドレスチェアモニターをお買上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は利用者さんが車イスから立ち上がろうとすると、アラーム音やチャイム音が鳴って利用者さんの転倒の可能性をお知らせするシステムです。正しくお使いいただくために、取扱説明書をよくお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

この製品は、あくまでも介護者さんご自身が利用者さんの安全を見守るうえでの手助けをするものです。安全を保証するものではありません。

本製品の主な機能

- 本製品は、利用者さんが車椅子から立ち上がって車椅子のシート下に設置された重量センサー板から利用者さんの体重が取り除かれたときアラーム音やチャイム音が鳴り、利用者さんの転倒の可能性をお知らせするシステムです。
- 録音機能があり、介護者さんや利用者さんのご家族の方など利用者さんと親しい方の声でメッセージを録音しておいてアラーム音やチャイム音の代わりに使用したり、メッセージをアラーム音やチャイム音と組み合わせで使用したりすることができます。
- 車椅子のハンドルにリセットスイッチ付属品を設置すると、介護者さんは車椅子を押しながらアラーム音やチャイム音を止めもう一度システムを作動させることができます。

安全上のご注意

本製品を正しく安全に、また良好な状態でお使いいただくために、この安全上のご注意をよく読んで正しくお使いください。

※品質、性能向上、その他の事情で部品を変更することがあります。その際には、本書の内容と一部異なる場合もありますのであらかじめご了承ください。

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※「注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しています。必ずお守りください。

■絵表示の例



△の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。



⊘の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。



⓪の記号は「しなければならない行為」を示します。

警告

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください。

次のようなときは、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 煙が出ている、変なおいや音がする（異常状態）
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本機の内部に水や異物が入った
- 落としたり、破損した





分解禁止

分解しない

本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。内部の点検、調節、修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



水ぬれ禁止

ぬらさない

本機をぬらさないようご注意ください。火災、感電の原因となります。



禁止

本機の上に水などの入った容器を置かない

内部に水などが入った場合、火災、感電の原因となります。

▲ 注 意



禁止

電気毛布・電気あかなどの電気製品と同時使用しない

本機の故障や感電の原因となることがあります。



禁止

不安定な場所に置かない

不安定または振動の多い場所、棚などに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

本機の上に重いものを置かない

本機の故障の原因となることがあります。



禁止

乾電池使用上の注意

乾電池の使い方を誤ると、乾電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。次のことをお守りください。

- 指定以外の乾電池は使用しない。
- 極性（＋－）に注意し、表示通りに入れる。
- 種類の異なるものや、新旧の乾電池を混ぜて使わない。
- 乾電池を充電、加熱、分解したり、火や水の中に投入しない。ショートさせない。
- ネックレスなどの金属物といっしょにしない。
- 長期間（1ヵ月以上）使用しないときは、乾電池を取り出しておく。

もし、液もれが起こったときは、電池ケースについて液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

コードを接続するときの注意

チェアモニター本体にリセットスイッチのプラグを差し込むとき、または抜くときは丁寧に行ってください。決して強く引き抜いたりしないでください。故障の原因となることがあります。

車椅子へのセットアップ上の注意

チェアモニター本体は車椅子に説明にしがたって正しく取り付けてください。安全に取り付けられていない場合、故障の原因となることがあります。

リセットスイッチの取り付け上の注意

リセットスイッチの取り付けには、付属のマジックテープ以外ご使用にならないでください。指定以外のものをご使用になると、システムの妨げになるばかりでなく、利用者さんのけがの原因となることがあります。また、利用者さんの手の届かないところに取り付けてください。

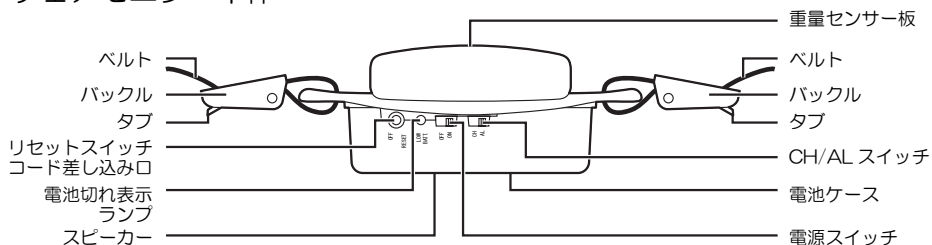
ご使用になる前の確認

ご使用になる前に、必ず次のことを確認してください。

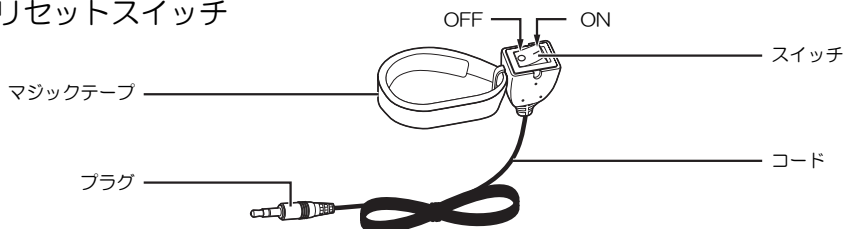
- チェアモニター本体が壊れていないかどうか
- 録音メッセージが聞き取りやすいかどうか
- 電池切れ表示ランプが赤く点滅していないかどうか
- 本製品は利用者さんの転倒の可能性を介護者さんに知らせて転倒を未然に防ぐ手助けをするものです。転倒自体を防ぐものではありません。
- 本製品は車椅子から利用者さんを立ち上げられないようにするものではありません。利用者さんが車椅子から降りたくて手助けを必要としていることを介護者さんに知らせるためのものです。
- 本製品は利用者さんによっては正しく使用できない場合があります。
- 本製品は転倒危険度が高い利用者さんにはご使用をお控えください。

各部の名称とはたらき

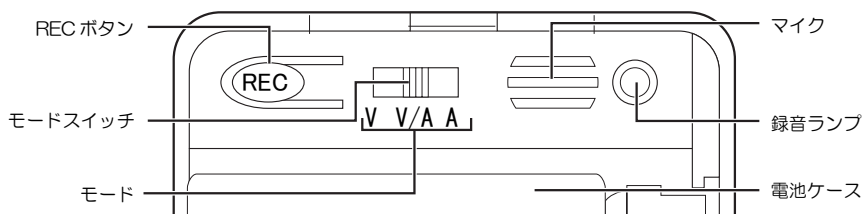
チェアモニター本体



リセットスイッチ



電池ケースの内部



電池の入れ方

本体の裏にある電池ケースのカバーの矢印部分を軽く押しながら矢印の方向にスライドさせてカバーを外します。

別売りの9Vアルカリ電池を、 \oplus \ominus を確かめ、ケースの中に入れます。



このとき、必要であればメッセージの録音（次ページの「メッセージの録音」を参照してください。）や利用者さんが車椅子から立ち上がったときに鳴る警告音の切り換え（次ページの「モードスイッチの設定」を参照してください。）を行います。

基本装備

- ・ストラップ付きパッドレスチェアモニター
- ・リセットスイッチ（コードとマジックテープ付）
- ・9Vアルカリ乾電池（別売り）

メッセージの録音

本製品は、最長15秒のメッセージを録音することができます。

次の手順に従って録音を行ってください。

1. チェアモニター本体の横にある電源スイッチをONにします。アラームが「ピー」と1回鳴ります。
2. 電池ケースのカバーを開けて電池ケース内のRECボタンを押し、メッセージを録音します。録音を終えるまで、RECボタンは押しっぱなしにします。ボタンを押して録音を行っている間、録音ランプが赤く点灯します。



- ・メッセージを録音するときは、本体から25～30センチ程口を近づけ、はっきり話してください。また、RECボタンを押してから間をあげずに録音してください。
- ・録音したメッセージを聞き返すには本体の重量センサー板をいったん押してから手を離します。
- ・メッセージを変更したいときは手順2を繰り返してもう一度録音を行ってください。なお、RECボタンを押して再度録音を行うと、以前録音されていたメッセージは消去されます。

3. 電池ケースのカバーを閉めます。



メッセージを聞くときは、電池ケース内のモードスイッチをVまたはV/Aのどちらかに合わせてください。

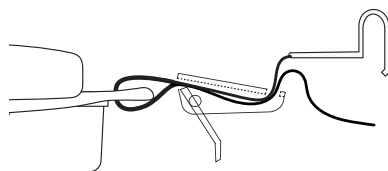
モードスイッチの設定

電池ケースの中のモードスイッチを切り換えて、利用者さんが車椅子から立ち上がったときに鳴る警告音を選択することができます。

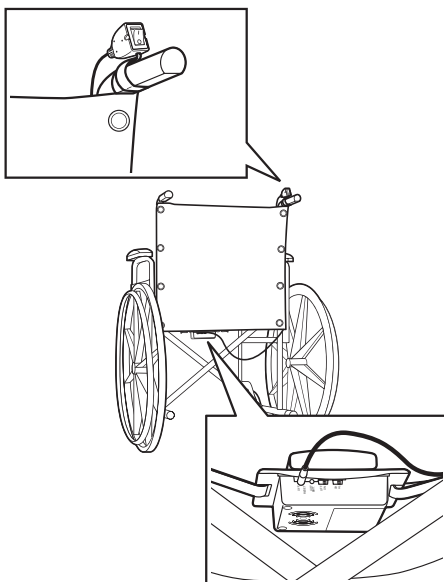
下の表を参照して、鳴らしたい警告音を選んでご使用ください。

選択モード	警告音
V	Voice (声のメッセージ)
V/A	Voice (声のメッセージ) / Alarm (アラーム音またはチャイム音) メッセージが流れた後、アラーム音またはチャイム音が鳴ります
A	Alarm (アラーム音またはチャイム音)

車椅子への取り付け



1. 付属のベルトとバックルを図のように取り付けてください。



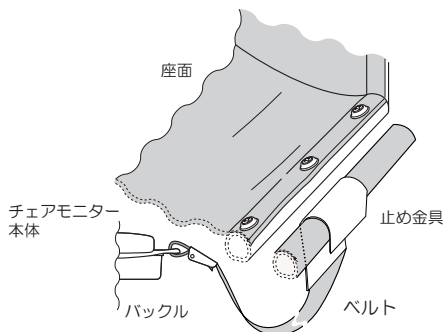
- ・チェアモニター本体は、上の図のように必ずシート下に取り付けてください。

2. チェアモニター本体の左右に付いているベルトのバックルのタブを外し、ベルトを伸ばしてゆるめます。

3. 車椅子の座面の下に、チェアモニター本体の重量センサー板を上に向け、電源スイッチのついている側が車椅子後方から見えるように仮置きします。

つづく

4. 下の図のように止め金具を車イスのサイドパイプに引っ掛けて設置します。



5. バックルを動かしながらベルトを引っ張り、ベルトの長さを調整します。

❗ 車椅子を上下逆に倒すと楽に調整ができます。

6. ベルトをちょうどいい長さに調整したら、バックルのタブを開けてベルトを固定します。

❗ 車椅子の座面とチェアモニター本体がほぼ平行になっていることを確認してください。

3. リセットスイッチ（付属品）のプラグを本体のリセットスイッチコード差し込み口に差し込み、マジックテープを使用して車椅子のハンドルにリセットスイッチを取り付けます。

❗ リセットスイッチは利用者さんの手の届きにくいところに取り付けてください。

4. リセットスイッチをON (I) にします。確認のためのアラームが「ピー」と1回鳴ります。

❗ リセットスイッチのコードを本体のリセットスイッチコード差し込み口に差し込むとき、スイッチがOFF (O) になっているとアラームが「ピー」と1回鳴ります。ON (I) になっているとアラームは鳴りません。

5. 利用者さんが車椅子に座ると体重が加わることでシステムは作動を始め、確認のためのアラームが「ピー」と1回鳴ります。利用者さんがシートから離れると、介護者さんに利用者さんの転倒の危険性を知らせるため、警告音（メッセージ、チャイム音またはアラーム音）が鳴ります。

❗ ・警告音は利用者さんが車椅子に座り直すとき停止します。
・リセットスイッチをOFF (O) にするか、車椅子後方部から本体の電源スイッチをOFFにしても、警告音は停止します。

6. リセットスイッチをOFF (O) にして警告音を停止させた後、ご使用を続けるときはリセットスイッチをON (I) にするとシステムがリセットされ、確認のためのアラームが「ピー」と1回鳴ります。

ご使用方法

1. チェアモニター本体の電源スイッチをONにします。確認のためのアラームが「ピー」と1回鳴ります。

2. チェアモニター本体のCH/ALスイッチで、チャイム音 (CH) またはアラーム音 (AL) どちらかを選びます。

❗ 利用者さんにあらかじめ録音しておいたメッセージを流すことや、メッセージが流れた後にアラーム音またはチャイム音を鳴らすこともできます。また、電池ケースの中のモードスイッチをVに合わせている場合はCH/ALスイッチでどちらを選んでもメッセージが流れます。詳しくは、前ページの「モードスイッチの設定」を参照してください。

電池がなくなりかけたら・・・

ご使用になる前に、必ず電池切れ表示ランプを確認してください。電池がなくなりかけると、チェアモニター本体の電源をONにしたときに、電池切れのお知らせ音が「ピピピピピピ・ピピピピピピ・ピー」と鳴り、チェアモニター本体の電池切れ表示ランプが赤く点滅します。この場合はすぐに電池を交換してください。

※電池寿命：3～6ヶ月（使用頻度により異なります。）

システムのテスト作動

ご使用になる前に、チェアモニター本体とリセットスイッチをテスト作動させてください。

1. チェアモニター本体の電池ケースの中のモードスイッチをV、V/AまたはAに設定し、チェアモニター本体の電源をONにします。確認のためのアラームが「ピー」と1回鳴ります。
2. 車椅子にいったん体重をかけます。確認のためのアラームが「ピー」と1回鳴ります。
3. かけた体重を取り除き、チャイム音またはアラーム音が鳴るかどうか、またメッセージが流れるかどうかや、聞き取りやすいかどうかなどを確認します。
4. リセットスイッチをOFF (O) にして停止します。

こんな時には・・・ (故障とお考えになる前に)

利用者さんが車椅子から立ち上がってもチャイム音やアラーム音が鳴らないとき

- チェアモニター本体の電源スイッチがONになっているかどうか確認してください。
- 電池がなくなりかけていないかどうか確認してください。電池がなくなりかけると、チェアモニター本体の電源をONにしたときに、電池切れのお知らせ音が「ピピピピピピ・ピピピピピピ・ピ」鳴るとともに、電池切れ表示ランプが赤く点滅します。すぐに電池を交換してください。
- 利用者さんの体重がかかる位置にチェアモニター本体の重量センサー板がきちんと設置されているか、またはベルトがゆるんでいないかをかくにんしてください。
- チェアモニター本体の重量センサー板が上になっていることを確認してください。
- リセットスイッチのプラグがチェアモニター本体のリセットスイッチコード差込口に滝説に接続されているか確認してください。
- リセットスイッチがON (I) になっているかどうか確認してください。

保証規定

- チェアモニター本体およびリセットスイッチはご購入の日から1年間保証いたします。
- お客さまが取扱説明書に従った使用状態のもとで、保証期限内に万一故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- 保証期限内でも次のような場合は有料修理とさせていただきます。
 - 本保証書のご提示のない場合
 - 本保証書にお客さま名、お買上げ年月日、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書きかえられた場合
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
 - お買上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
 - 本製品に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

* 故障品の修理を円滑かつ迅速に行うため、修理をご希望の際は、お買上げ店へ持参せず本保証書を添付して、必ず下記宛先へ直接ご郵送ください。
チェアモニター本体がリセットスイッチのどちらの故障かわからない場合は、両方ともご郵送ください。

品番	ETL08-1		問 合 せ 先	お客さま相談室 株式会社エクセルエンジニアリング 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-2-10 坂田ビル5F <small>ふくしコールさん</small> ☎ フリーダイヤル TEL 0120-294563 ☎ フリーダイヤル FAX 0120-294560 http://www.excel-jpn.com e-mail excel@excel-jpn.com	
製造番号					
保証期間	*ご購入日から1年間 ご購入日 年 月 日				
お客様	ご住所	〒			
	お名前	(フリガナ)			
	TEL	市外局番	()		

販売店	輸入元 株式会社エクセルエンジニアリング 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-2-10 坂田ビル5F <small>ふくしコールさん</small> ☎ フリーダイヤル TEL 0120-294563 ☎ フリーダイヤル FAX 0120-294560 http://www.excel-jpn.com e-mail excel@excel-jpn.com
-----	---